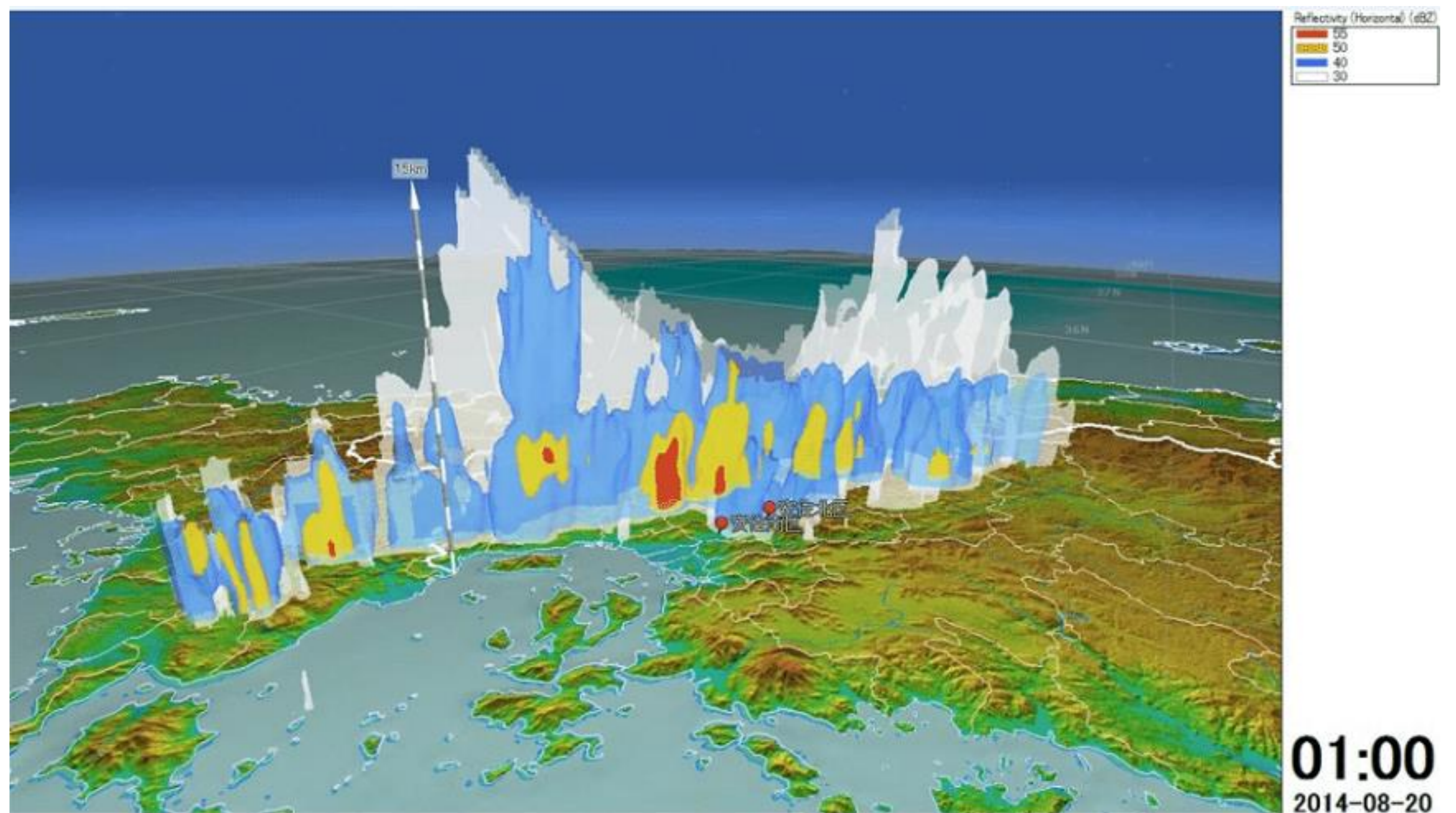


集中豪雨のしくみ

- 同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mmから数百mmの雨量をもたらす雨のことを「集中豪雨」といいます。
- 集中豪雨のメカニズムには「線状降水帯」と「シーダ・フィーダ機構」があります。

■線状降水帯

- 線状に並んだ停滞性の雨雲の帯を「線状降水帯」と呼んでいます。
- 積乱雲が入れ替わりながら全体として停滞し、局地的に大雨を降らせます。
- 線状降水帯の予報は難しく、しばしば不意打ちの大雨をもたらすことがあります。



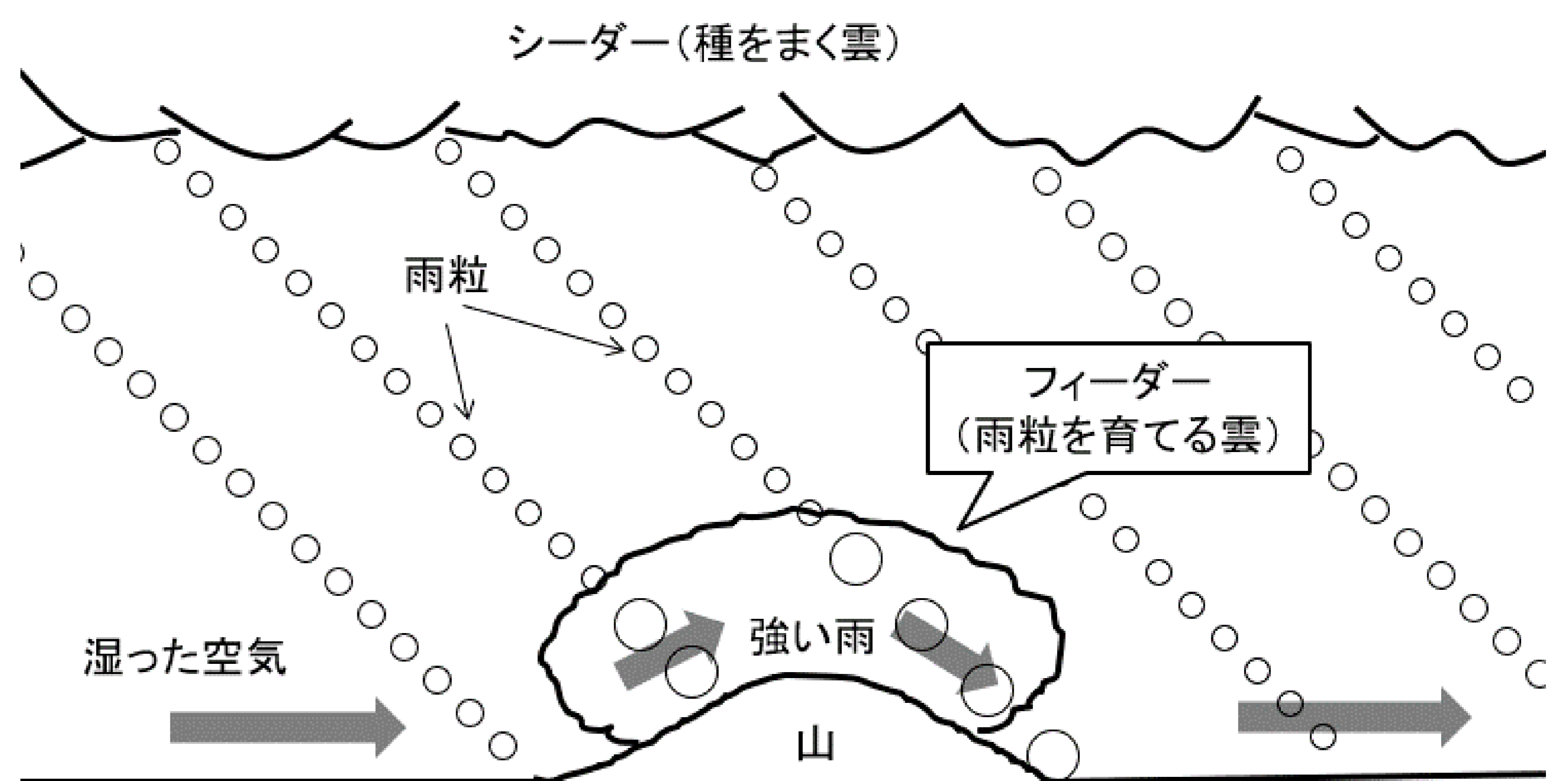
2014年8月20日に広島市で発生した線状降水帯。77名が犠牲になった
(作図：防災科学技術研究所、データ提供：国土交通省)

■シーダ・フィーダ機構

- 台風に伴う雨は、山岳地域で特に強く降ります。これは、山によって台風の雨が強められるからです。そのメカニズムを「シーダ・フィーダ機構」といいます。
- 台風に伴う湿った空気が、山の上に雲をつくり、そこへ、台風本体の上層の雲からの雨が降ってくると、雨粒が山の上にある雲粒を捉えて成長します。
- 日降水量の記録の多くは、シーダ・フィーダ機構が原因と考えられます。

日降水量の記録（気象庁）

順位	降水量 (mm)	地点	起日
1	922.5	箱根（神奈川）	2019.10.12
2	851.5	魚梁瀬（高知）	2011.7.19
3	844	日出岳（奈良）	1982.8.1
4	806	尾鷲（三重）	1968.9.26
5	790	内海（香川）	1976.9.11
6	765	与那国島（沖縄）	2008.9.13
7	764	宮川（三重）	2011.7.19



「シーダ・フィーダ機構」による大雨のしくみ